

## 2024 年度 部局 FD 活動報告

## 国際基幹教育機構

1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） 機構内教育改革委員会（副機構長、大学教育 G から 5 名、その他の教員 G から 3 名）を設置している。高等教育研究開発センターが主催する全学 FD 以外の機構内 FD は、教員所属 G 単位または科目委員会単位で検討・実施されている。機構内教育改革委員会は、FD 実施計画と実施状況のとりまとめを行っている。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
【人権 G】		
2024 年 9 月 11 日	人権問題研究センター「人権関連科目 FD 研修会」	7 人
2025 年 3 月 10 日	アクセシビリティセンター主催・高等教育研究開発センターおよび人権問題研究センター共催「発達・精神障害のある学生への合理的配慮」	142 人
【大学教育 G】		
12 月 24 日	初年次ゼミナール説明会	60 人
11 月 6 日	第 5 回大学教育研究セミナー「大阪公立大学学生の 1 年次の学修に関する調査結果報告」（高等教育研究開発センター主催）で、初年次ゼミナールに関するアンケート結果の報告を行った	64 人
【健康・スポーツ科学 G】		
<杉本キャンパス>		
2024 年 4 月 9 日(火) 11 時 45 分～	第 1 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	8
2024 年 4 月 11 日(木) 11 時 45 分～	第 2 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	10
2024 年 10 月 1 日(火) 12 時 00 分～	第 3 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9
2024 年 10 月 1 日(火) 16 時 00 分～	第 4 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9
2024 年 10 月 3 日(木) 12 時 00 分～	第 5 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9
2024 年 10 月 3 日(木) 16 時 00 分～	第 6 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	10
<なかもずキャンパス>		
2024 年 4 月 5 日(金)	第 1 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員によ	4

15 時 00 分～	る実習授業の展開方法について)	
2024 年 5 月 15 日(火) 17 時 00 分～	第 2 回 FD 研修会 (健康・スポーツ科学実習担当教員 (非常勤を含む) による学外実習授業の展開について)	4
2024 年 5 月 24 日(金) 10 時 30 分～	第 3 回 FD 研修会 (健康・スポーツ科学実習担当教員による学外実習授業展開の検討)	4
2024 年 6 月 7 日(火) 9 時 00 分～	第 4 回 FD 研修会 (健康・スポーツ科学実習担当教員による学外実習授業展開の検討)	4
2024 年 9 月 10 日(火) 16 時 00 分～	第 5 回 FD 研修会 (健康・スポーツ科学実習担当教員 (非常勤を含む) による学外実習授業の展開について)	6
2024 年 10 月 15 日 (火)15 時 00 分～	第 6 回 FD 研修会 (健康・スポーツ科学実習担当教員による学外実習授業の評価について)	4
2025 年 3 月 25 日(火) 15 時 00 分～17 時 30 分	第 7 回 FD 研修会 (健康・スポーツ科学実習担当教員 (非常勤を含む) による実習授業展開および指導方法に関するスキルアップ研修)	10
【数学 G】		
8 月 22 日	数学 FD ミーティング	約 40
3 月 1 日	数学 FD ミーティング	約 40
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回 (* 月 * 日) ~ について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
【人権 G】		
副専攻担当者会議	前期、後期が始まる前に計画した教育方法・教育内容について、学生の理解や関心に合わせて改善するため、各回の授業後に検討会を行った。(計 5 回程度)	3 人
副専攻運営会議	登録者の関心に合わせてどのようなプログラムを展開するべきか、前期、後期が始まる前に検討を行った。	3 人
【大学教育 G】		
大学院共通教育科目委員会	メール会議 (11 月 13 日～11 月 17 日) で、教学アセスメントのための点検評価の一環として、GP 分布/GPC データの確認、シラバス点検、ていらみすデータの確認と検討を行った。	4 人
初年次教育科目委員会	9 月 27 日と 11 月 11 日に Zoom 会議を行い、今年度のアンケート結果の確認の他、教学アセスメントのための点検評価 (GP 分布、シラバス点検、ていら・みすデータに基づく検討) を行った。	4 人
【教職 G】		
教職グループ会議	第 1 回 (4 月 25 日) 「今年度の FD 活動の計画」、第 2 回 (10 月 29 日) 「カルテ面談の FD 活動への活用法につ	3

	いて」	
【英語 G】		
英語科目委員会	毎月 1 回の英語授業改善のための意見交換「第 1 回（4 月 14 日）」「第 2 回（5 月 10 日）」「第 3 回（6 月 14 日）」「第 4 回（7 月 12 日）」「第 5 回（9 月 13 日）」「第 6 回（10 月 11 日）」「第 7 回（11 月 8 日）」「第 8 回（12 月 6 日）」「第 9 回（1 月 10 日）」「第 10 回（2 月 18 日）」	19 名
【初修外国語 G】		
ロシア語非常勤講師 ミーティング	新年度を迎えるにあたって、授業の進め方の確認や、注意事項の共有を行った。2024 年 4 月 2 日開催。	1 人
【初修外国語（特例科目）】		
特例科目委員会	第 1 回（5 月 27 日～7 月 5 日）：前期授業の受講者数、教材購入、今年度の FD 計画、特別履修生受入れ状況等について 第 2 回（10 月 3 日）：後期授業の受講者数、2025 年度以降の特別履修生受入れ方針と科目編成（開講キャンパス、時間割）等について 第 3 回（11 月 5 日）：教学アセスメントについて 第 4 回（2 月 20 日）：FD 報告について	2
教育推進課国際教育 担当との協議	9 月 26 日 2025 年度以降の特別履修生受入れ方針について 2 月 12 日 特別履修生の受入れ（2024 年度の総括と 2025 年度の方針）について	4
教育推進課基幹教育 担当との協議	10 月 8 日 森之宮キャンパス移転後の科目編成（開講キャンパス、時間割）について	3
非常勤講師との打ち 合わせ	7 月 15 日 2024 年度前期の授業の総括と 2025 年度の方針について 1 月 27 日 2024 年度後期の授業の総括と 2025 年度の方針について	2
【健康・スポーツ科学 G】		
健康・スポーツ科学 科目委員会	第 1 回（5 月 15 日）2023 年度後期 GP 分布・GPC データについて、その他 第 2 回（6 月 19 日）森之宮キャンパスで使用する商品確認にかかる施設課との協議について、その他 第 3 回（7 月 17 日）2025 年度前期時間割について、その他 第 4 回（9 月 27 日）森之宮キャンパスアリーナ等のスポーツ教育施設利用に関する小 WG 報告について、その他	10

	<p>第5回（10月16日）健康・スポーツ科学概論文学部クラス開講曜日時限について、その他</p> <p>第6回（11月20日）2025年度科目要覧について、その他</p> <p>第7回（12月18日）森之宮スポーツ教育施設のセキュリティ管理について、その他</p> <p>第8回（1月15日）森之宮スポーツ教育施設新設備品の仕様等について、その他</p> <p>第9回（2月19日）2024年度FD活動報告について、その他</p> <p>第10回（3月19日）健康・スポーツ科学科目の開講方針および評価方針についての検討、その他</p>	
教務担当教員会議	<p>第1回（6月12日）2025年度後期以降の健康・スポーツ科学実習時間割案について、その他</p> <p>第2回（6月17日）2023年度インクルーシブスポーツ実習試験開講にかかる評価について、その他</p> <p>第3回（8月6日）2025年度以降授業運営方法について、その他</p> <p>第4回（12月4日）森之宮移転備品（スポーツ教育施設）について、その他</p>	<p>4</p> <p>（第3回のみ5）</p>
【数学G】		
数学科目委員会	第1回：授業関連の問題への対応等について・5/23	7
数学科目委員会	第2回：工学2年次科目の開講キャンパス問題対応・8/1	7
数学科目委員会	第3回：授業担当割り振りについて・10/29	7
【物理学G】		
物理学分野会議 （なかもず地区）	<p>第1回（4月4日）、第2回（4月25日）、第3回（6月6日）、第4回（7月4日）、第5回（9月5日）、第6回（10月3日）、第7回（11月7日）、第8回（12月5日）、第9回（1月9日）、第10回（2月13日）、第11回（3月6日）、各回とも物理学講義科目に関する内容、物理学実験、非常勤講師の配置等について検討しました。</p>	4
【化学G】		
化学グループミーティング	<p>「第1回（4月22日）ハラスメント相談員会議について」</p> <p>「第3回（6月24日）学生アンケートを教員評価に使うことができる件、教員免許には介護実習必須について」</p> <p>「第5回（9月30日）出席管理ツールの運用について」</p> <p>「第6回（10月21日）情報リテラシー・外国語・健康ス</p>	5

	<p>ポーツの必修選択について，翻訳 AI 25 年度導入について」</p> <p>「第 8 回（12 月 23 日）基礎化学実験新指導書について」</p> <p>「第 9 回（1 月 20 日）初年次ゼミと情報科目の変更案について」</p>	
【キャリアデザイン G】		
高度人材育成センター 一定例会議	<p>第 1 回(4 月 19 日)人材提供カリキュラム再編 WG について、他</p> <p>第 2 回(5 月 31 日)企業と大学院生の WEB 交流会 2024 報告、他</p> <p>第 3 回(6 月 28 日)リーディングプログラム関連報告、他</p> <p>第 4 回(7 月 19 日)第 3 期 顧客価値共創プログラム報告、他</p> <p>第 6 回(9 月 27 日)TEC ・ Fledge プログラム関連報告、他</p> <p>第 7 回(10 月 18 日)Fledge プログラム、海外派遣プログラム、他</p> <p>第 8 回(11 月 15 日) 2025 年度リーディングプログラム選抜試験、他</p> <p>第 9 回(12 月 20 日)カリキュラム再編、顧客価値共創プログラム、他</p> <p>第 10 回(1 月 24 日)高度人材育成推進センター規程改正、他</p> <p>第 11 回(2 月 28 日) 報告事項のみ</p>	25 人（職員を含む）
リーディング大学院 プログラム教員・メン ター会議	<p>第 1 回(6 月 20 日) SiMS 3 ポリシー等の見直し開始について</p> <p>第 2 回(7 月 31 日) 育成すべき人物像について</p> <p>第 3 回(9 月 4 日) 同上 継続協議</p> <p>第 4 回(10 月 3 日) 人物像を反映させたディプロマポリシーについて</p> <p>第 5 回(12 月 19 日) 同上 継続協議</p> <p>第 6 回(1 月 23 日) ディプロマポリシーの文言 検討</p> <p>第 7 回(2 月 13 日) ディプロマポリシー成文化 完了</p> <p>第 8 回(3 月 27 日) ディプロマ要項-カリキュラム 対照表検討</p>	5 人 (専任 2, 特任 1, コーディネーター 2 名)
高度人材育成推進セ ンター提供科目再編 検討会議	<p>第 1 回 (5 月 14 日) 現カリキュラムの現状と検討すべき内容について</p> <p>第 2 回 (6 月 21 日) 新カリキュラムマップ、プログラム名称について</p> <p>第 3 回 (7 月 31 日) 科目名称案のアンケート調査結果につ</p>	4 人 (専任 2, 特任 2 名)

	いて 第4回（11月26日～12月17日チャット会議）新科目名称 およびプログラム名称の決定について	
2024 年度アドバイザ リー委員会	2023 年度、 2024 年度前期プログラム実施概要と実績 報 告、質疑応答、意見交換、他 10 月 21 日 開催	23 人（職員を含 む）

#### 4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組

##### 【人権 G】

- (1) 基幹教育の科目運営委員会にオブザーバー参加することとなった。
- (2) SI 副専攻との交流を持った。

##### 【大学教育 G】

##### <大学教育 G>

- ・大学教育 G メンバーは、高等教育研究開発センターの専任研究員として、多様な全学 FD の企画・運営を担当するとともに、他部局の部局 FD 等の支援を行った。（高等教育研究開発センターの FD 関連業務については、別途報告。）

##### <初年次教育科目委員会>

- ・OMU ラーニングセンターの協力を得て、「国際基幹教育機構開設科目要覧」に掲載する「先輩からのアドバイス」を最新情報に改訂した。
- ・教育推進課のポータルサイトに、初年次ゼミナール専用ページを設置し、各種情報を集約して、担当教員がアクセスしやすくした。担当教員の希望を受けて、ラーニングセンターが作成しているレポートの書き方等に関するセミナー用資料も掲載した。
- ・初年次ゼミナール担当教員と受講生へのアンケート調査を実施した。
- ・2023 年度に実施したアンケート結果を「大阪公立大学大学教育」第3巻に資料論文として掲載した。

##### <大学院共通教育科目委員会>

- ・旧市大では博士前後期(修士・博士)両課程が取得可能だった科目を、大阪公立大学移行時に、博士前期課程向け科目として開講し、博士後期課程の学生への科目情報の提供や多様な学生同士の学び合いの効果が高いため、希望があれば博士後期課程の学生の履修を認める形で運営してきていたが、課程ごとの開講科目の到達目標・評価等の明確化や、開講周知および履修登録の手続き上、前期課程と後期課程の科目を、それぞれ分けて開講することが望ましいため、前期課程向け科目と同時連携開講の後期課程向け科目として新設することとした。これによって今後、博士後期課程の学生に対して、履修可能な科目の周知が一層徹底され、履修登録手続きも簡便となるため、後期課程の学生の履修促進が見込まれる。

##### 【人文社会科学 G】

FD 関連の情報をグループの教員会合等にて随時共有した。

また、FD セミナー等への積極的な参加や、ピア授業参観の実施について呼びかけを行った。

##### 【教職 G】

教職課程履修者を対象に、「教職キャリアガイダンス」を試行実施。

#### 【英語 G】

- ・各期末または年度末に英語カリキュラムの検証および評価の実施
- ・2024 年度全学共通教育英語科目に関する教員アンケート調査の実施（2024 年 8 月、2025 年 1 月実施）
- ・2024 年度全学共通教育英語科目に関する学生アンケート調査の実施（2024 年 8 月、2025 年 1 月実施）
- ・2024 年度末に、2025 年度に向けた UE B 科目担当非常勤教員を対象とした授業運営説明会の実施
- ・非常勤の先生方からの授業内容・運営に関する質問への継続的な対応
- ・上記 FD 活動の各キャンパスでの実施および調整

#### 【初修外国語 G】

##### <朝鮮語>

定期的に朝鮮語教育に関する有益な情報を共有している。また教材の活用や「韓国語 WEB 教室」の活用方法、授業進度や評価方法等について、情報を共有すると共に意見交換を行った。

##### <中国語>

全担当者（非常勤講師を含む 41 名）をメンバーとする Teams のチームを作成し、中国語教育の改善に役立つ情報の配信を開始している。Teams の分析機能によると、2024 年 11 月 6 日から 2025 年 2 月 3 日までの 90 日間に「投稿 22、返信 2、リアクション 55、メンション 8」があった。今後も定期的に配信する予定である。

また、2025 年 3 月 17 に実施した初修外国語担当者講師会（Zoom によるオンライン形式）では、時間内にブレイクアウトルームにて中国語担当者間の意見交換を行い、本学の中国語教育に関する意見や質問等を募り、今後の FD 活動の参考とした。

##### <ロシア語>

- ・ 共同で受け持つ授業の運営にあたって、非常勤講師同士の円滑なコミュニケーションを促すために、連絡用のプラットフォームとして Google Classroom を活用し、教材や教育方法、などの授業に必要な情報の交換を行った。
- ・ Teams 内に初修ロシア語科目のページ（学生及び教員対象）を開設し、ロシア語やロシア文化イベントなどについての情報を投稿した。Teams の分析によると、90 日間（24.09.2024～22.12.2024）のデータは以下の通りです。アクティブユーザーの数 28、投稿 33、返信 71、リアクション 354、メンション 24。来年度も続く予定である。
- ・ 第 2 外国語としてのロシア語教育について、年中に MGU（モスクワ国立大学） Russian Language Center などのウェビナーに参加した。

##### <フランス語>

・非常勤講師を含む全担当者との連絡用にメーリングリストをすでに設置しており、そこから教育改善に関する情報の交換・共有を行った。

・トゥール大学大学院から FLE（外国語としてのフランス語教育）専攻の大学院生 2 名を受け入れ、フランス語基礎/会話およびフランス語特修の一部クラスで教育実習を行った。

・フランス語クラスで、学生アシスタント（SA）やフランスの交流協定校から受け入れた留学生（日本語学習者）の参加により、学生間交流と学びの活性化を図った。

・フランス語教育、その他の外国語教育に関する学会や研究会、シンポジウム、講演会への参加を通じ、教育法や学習者支援、授業改善等についての新しい知見を取り入れることを推進した。

- ・フリブール大学（スイス）よりアレッサンドラ・ケレール・ゲルベール准教授を招聘し、フランス語教育に関する研究会を行った。

#### <ドイツ語>

- ・授業担当者を対象にグーグルフォーム等を使って学期ごとに授業アンケートをとり、授業運営上の課題や問題を共有・分析した。
- ・非常勤講師も含めて、3/17 にオンライン会議を開催した。それぞれのクラスやコースに適した教材や授業進度、シラバス記載内容などについての相互チェックと意見交換を行った。
- ・学期中、授業運営にあたって有益と思われる情報（留学情報含む）を授業担当者間で適宜共有した。

#### 【初修外国語（特例科目）】

- ・2025 年度後期の森之宮キャンパス移転後の科目の開講キャンパスと開講方法（遠隔授業の実施）について、関係教員へのヒアリングを行なった（10 月 31 日、11 月 1 日）

#### 【健康・スポーツ科学 G】

- ・各教員が全学 FD 研究会などへ積極的に参加し、FD に対する意識づけを図った。
- ・多様な学生への対応を視野に入れ、健康・スポーツ科学実習において、学外での集中野外実習授業を設定し、その授業展開及び指導内容、指導方法について検討した。また、授業後に指導内容、教育評価について検討を行った。
- ・障がいの有無にかかわらず誰もが参加可能なインクルーシブスポーツ実習を 2025 年度より森之宮新キャンパスで開講することをめざし、授業内容の検討ならびに試験的開講を行った。
- ・健康・スポーツ科学科目委員会において、健康・スポーツ科学概論および実習の履修方法、授業内容、授業展開、成績評価方法などについて、2025 年度前期までの両キャンパス開講期間の方針について検討した。また、2025 年度後期の森之宮新キャンパス移転後の方針について検討を進めた。
- ・スポーツ教育施設の整備、機材の精選などを行い、さらなる授業の質的向上を目指し、学生満足度の高い効果的な授業展開を行うための検討を進めた。
- ・これまでに各キャンパスで実施してきたプロジェクト型研究の成果を各授業に適用することで、学生の好奇心の充実を図り、さらに魅力ある授業の展開を目指して活動した。

#### 【数学 G】

数学相談室の運営

Moodle・STACK（オンライン数学テスト）のコンテンツ開発

授業担当者への個別相談・指導

#### 【物理学 G】

なかもず地区では、森之宮地区移転に向けた物理学実験の準備、物理学実験教科書の編集、教務等について話し合いました。

2024 年 11 月提出の「教学アセスメントリストにおける年次点検評価報告書(2023 年度分)」を作成しました。その際、(1) 2023 年度 GP 分布/GPC データ(2)シラバス点検に係るデータ(3)ていら・みすデータの確認・分析を行いました。

#### 【生物学】

(1) SEL 教室において提供されている接続教育教材について各担当授業内にて紹介し、受講者に活用を促した。高等学校における教科内容（範囲、深度）について、担当教員間で共有した。

(2) 成績評価・到達度評価の方法と基準に関して、到達目標・授業科目の概要を共通とする同一科



目名のクラス間で、齟齬をきたさぬよう、開講前と成績評価時に打ち合わせと調整の機会をもった。

【地学 G】

理学研究科地球学専攻会議において基幹教育科目の GPC データの共有を行い、各担当者の教育改善に役立てた。担当教員は FD セミナーに積極的に参加している。杉本キャンパスでは実験用教材（篩）を購入し、中百舌鳥キャンパスでは SEL 室の動画教材を充実させた。森之宮キャンパス移転を見据えての物品の整理も進めている。

【キャリアデザイン G】

2024.11.15-16 大学院教育改革フォーラム 2024 に参加（現地参加 2 名、オンライン参加 1 名）

5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

- ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 78 ）人
- ・所属内の専任教員の人数 （ 78 ）人

6. その他、追記事項

【人権 G】

「人権論」の教科書編纂企画は、ある出版社から提案されたものであったが、検討の上、当グループとしては取り組まないこととなった。

【英語 G】

・2024 年度末に、2025 年度に向けた UE A 科目担当非常勤教員を対象とした授業運営説明会の実施を予定していたが、実施しないことを決定した。

【数学 G】

非常勤講師説明会は、授業担当者説明会として非常勤以外も含む形で年度末に実施予定だったが、日程調整の結果、4 月 1 日に実施することとなったので次年度の活動となる。